

(第1面)

| | |
|---|------------------------------------|
| <p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>2023 年 9 月 19 日</p> <p>西宮市長 様</p> <p>提出者 住所 西宮市大畑町7-27 氏名 株式会社 富田建設 代表取締役 原田 利寛</p> <p>電話番号 0798-63-6378</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p> | |
| 事業場の名称 | 西宮市管轄区域内事業場 |
| 事業場の所在地 | 西宮市管轄区域内 |
| 計画期間 | 令和5(2023)年4月1日 から 令和6(2024)年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ① 事業の種類 | 0796 はつり・解体工事業 |
| ② 事業の規模 | 401百万円 |
| ③ 従業員数 | 14名 |
| ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 | 事業場で発生した産業廃棄物は、全て中間処理、再生処理業者に委託する。 |

| 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| <p>(管理体制図)</p> <p>代表取締役/統括責任者</p> <p>↓</p> <p>部長/産業廃棄物管理責任者</p> <ul style="list-style-type: none">・委託契約書の締結・廃棄物発生状況の把握および管理 <p>↓</p> <p>現場責任者</p> <ul style="list-style-type: none">・委託業者の選定・現場作業員への周知教育・廃棄物発生状況の把握および管理 <p>↓</p> <p>現場・事務担当者</p> <ul style="list-style-type: none">・現場における廃棄物分別の管理・ manifests の運用・管理 | | | | |
| 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | | | |
| ①現状 | 【前年度（令和4（2022）年度）実績】 | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 排出量 | t | t | t |
| | <p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・解体工事における産業廃棄物は可能な限り分別を行い、混合廃棄物を減少させるように取り組んでいる。・建設リサイクル法の特定建設資材以外も可能な限り分別リサイクルに取り組んでいる。・令和2年より電子 manifests を導入し廃棄物管理を行っている。 | | | |
| ②計画 | 【目標】（今年度末の目標値） | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 排出量 | t | t | t |
| | <p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・受注状況、解体物により排出量が大きく変動するが、これまでと同様の取組を継続して行う。 | | | |
| 産業廃棄物の分別に関する事項 | | | | |
| ①現状 | <p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・特定建設資材の分別（アスコンがら、コンクリートがら、木くず）及び、ガラス・陶磁器くず、繊維くず、廃石膏ボード、廃プラスチック類の分別。・解体工事における産業廃棄物は可能な限り分別を行う。 | | | |
| ②計画 | <p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none">・これまでと同様の取組を継続して行う。 | | | |

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | | |
|------------------------------|------------------------------|---|---|---|
| ①現状 | 【前年度（令和4（2022）年度）実績】 | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | t | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 自ら再生利用を行わない | | | |
| ②計画 | 【目標】（今年度末の目標値） | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | t | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 自ら再生利用を行わない | | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | | |
| ①現状 | 【前年度（令和4（2022）年度）実績】 | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | t | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | t | t | t |
| (これまでに実施した取組) 自ら中間処理を行わない | | | | |
| ②計画 | 【目標】（今年度末の目標値） | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | t | t | t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | t | t | t |
| (今後実施する予定の取組) 自ら中間処理を行わない | | | | |

(第4面)

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | | |
|------------------------------|--|---|---|---|
| ①現状 | 【前年度（令和4（2022）年度）実績】 | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | t | t | t |
| | （これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行わない | | | |
| ②計画 | 【目標】（今年度末の目標値） | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | t | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行わない | | | |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | | |
| ①現状 | 【前年度（令和4（2022）年度）実績】 | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | |
| | 全処理委託量 | t | t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t | t |
| | （これまでに実施した取組） 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、契約を締結している。 | | | |

| | | | | | |
|--------|-------------------------------------|---|---|---|---|
| ②計画 | 【目標】(今年度末の目標値) | | | | |
| | 産業廃棄物の種類 | | | | |
| | 全処理委託量 | t | t | t | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t | t | t | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) これまでと同様の取組を継続して行う。 | | | | |
| ※事務処理欄 | | | | | |

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。